



高岡市の伝統産業「高岡銅器」の製造を受け継ぎ、鋳物製造技術をもとに、鋳物オーダー製作をしている北辰工業所の定塚康宏さん。

北辰工業所は、戦前軍事工場の機械部品を供給のために誕生。終戦を迎え、民生品を作り始めた。

「昭和45年のオイルショックによる不景気。ここで世の中が変わった。52年でまた変わった。そして今も...」

社長になって8年。「こんな商売でも、世界に目を向けるようになった」

身近なところから。

有限会社 北辰工業所 定塚康宏

No.78

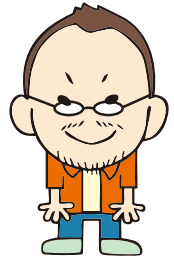
昨今だが、近所や自分の身近が大切。そういうことに気づき始めた。」

北辰工業所では、全国からたい焼きの型の注文を受注している。小矢部の「メルギュー焼き」の型を作ったのも、北辰工業所である。

「でも、まだまだ身近なことができていない。高岡、新湊、小矢部を高岡銅器の技術で盛り上げたい。」

「身近で活動していると、なぜか自然に全国からも仕事が入り込んでくるんです。」

この街で頑張る人、会社、団体を「人と人とのつながり」で紹介していきます。



「鋳物銘板は何百年も持つ丈夫な代物。だからこそ、何十年、何百年続く志ある会社や工場に、ぜひ鋳物銘板を作らないかと。」

「標札もそう。一代ひとつの家だけ時代も変わってきている。人も繋がっていかないと危ない。」



定塚社長には夢がある。丈夫な鋳物銘板の復活だ。「時代がそこに戻ってくると信じています。」

鋳物銘板は、今まで下請けの仕事であり、代理店が電飾やLEDの看板を扱うようになり、思うように仕事が入らなくなった。

「代理店がやらないのなら、自分からやってみよう。銘板を復活させたい工場で、企画生産販売までやろうと思っている。」

定塚社長が、「繋がり」というキーワードから注目しているのが、「食」。

「卵焼きの焼印はどうだろう。親から子ども達にもすてきなプレゼントにもなる。」

「また、たい焼きの型を作ったお客様に、その型を利用して作る安心安全な材料やレシピも紹介していきたい。」

さらにいろんなアイデアが飛び出す。

「車のアルミホイールを再利用して駐車場の車留めを作る。アルミサッシを再利用して、ドアストッパや傘立てを作る。やっぱり高岡はアルミの街だからね。」

これらのアイデアに共通しているのは、物の役割を大切にすること。

車が走るための道具を車が安全に止まるための道具に再利用。人を迎えるための道具に蘇らせる。100年以上もつ物を作っている会社だからこそ生れる発想だ。物にも想いがある。



定塚社長の目標は決まっている。

「100年続く会社になりたい。そのために必要なことをやり続けます。」

北辰工業所の創業は、1944年。100年続くには、次の世代にバトンを繋ぐ仕事が残っている。



高岡銅器の鋳造工房
有限会社 北辰工業所

〒939-1118 富山県高岡市戸出栄町45-5
TEL : 0766-63-5538
FAX : 0766-63-5539
URL <http://www.meivan.com>
E-mail j_brass@nifty.com

プレゼント



オリジナル焼印プレゼント！ 似顔絵焼印 1名様

※制作にはおよそ1カ月掛かります。

募集期間：平成23年10月17日(月)まで
PC・携帯からのご応募：<http://www.startaro.com/shop/OYABE> SNS会員様はキャンペーンに自動応募されます
Oyabe Local SNS：<http://www.sns.startaro.com/>

北辰工業所さんとコラボで焼印名刺を作るよ！



店長の一言